



# 「フジキンカーブグループ」小川 洋史 代表取締役兼CEO に今年のメッセージを伺いました。

- ・昨年5月に創業80周年を迎えられ「ながれのあるところすべてにフジキンの技術があります」をモットーに特殊バルブ・精密バルブ機器類・電子ながれ（流体）制御システム装置の研究開発型（ベンチャー）トップメーカーと確固たる地位を築かれています。
- ・半導体製造装置用バルブ機器では国内シェア約70%（推定）を占められていますが、これは約30年前から開発に取り組んでこられたノウハウの蓄積と地道な企業努力の結果だと考えます。
- ・また昨年4月には「官学産社」情報発信基地の東京・秋葉原に新本社を開設されるなど21世紀を担う2.5次産業型の保安・安全・安心をリードする新しい国際技術集積的中心企業として積極的に展開されています。
- ・VECの評議員としてベンチャー分野にもご尽力されている小川代表から毎年2月にメッセージを伺っておりますが、7年目の今年もご多用中のところをお伺いしました。

- ・上海万博大阪館に協賛出展  
2010年5月1日～10月31日  
水のカーテンを出展  
8月23日～8月25日大阪館で  
日本流結婚式イベントを挙  
行
- ・7月20日  
秋葉原ダイビルコンベンションホールで  
「創業80周年謝恩特別講演会」を開催。  
新東京本社開設を記念
- ・10月 日刊工業新聞 7年連続  
④モノづくり部品大賞 受賞  
「高温（250℃）対応圧力制御式ガス  
流量制御器」が、2010年④モノづくり  
部品大賞機械部品賞を受賞
- ・2011年2月1日フコク（生命の森）  
ビルにギャラリー・オープン  
大阪大学様との「官学産社」の一環としてグリーンビズの拠点開設
- ・フコク（生命の森）ビルで「創業80周年謝恩特別講演会」を予定（4月）



〔橋下大阪府知事・平松大阪市長〕  
からの上海万博出展感謝状

## ①今年の貴社スローガンはどのようなものですか。

小川洋史の2011ネームクリード（キーワード）

- (オ) オンリーワン
- (ガ) 感働
- (ワ) ワン ワールド ワイド
- (ヒ) ピンチは火の(玉)チャンス
- (ロ) ロケット流
- (シ) 進、神、信、真、心、芯、伸、親、新、深、身、清  
陣、仁、人

第3の創業 新々生1年目 第61機（'12.03月機）

{'11.04.01～'11.12.31('12.01.00)}

2011年FCG（フジキンカーブグループ）

統一年間④クイックスローガン（'11年04月～12月）

「世界のフジキンから 宇宙環強創り」と利用の

フジキンカーブグループへ」

『第3時<次>世界（経済）大戦 大決戦！

3段ロケット（スピード↗精度↗突破力↗）で、FCGの5大不孝<辛>  
（5重苦）（円高、株安、デフレと一部インフレ、円、フジキン（FCG）病）を打ち破れ！

“速さ”と“早さ”でラビット・スパート！世界へジャンプアップ！  
80(th) Anniversary Follow-up Yes. I (we) do!』

フジキンカーブグループ フジキン、フジキン、フジキン！！！！

## ②バイオエンジニアリング分野にも進出され「15冠企業」をめざされていますが、どのような目標ですか。

「世界ナンバー1・ナイス1・オンリー1・メガ1・トップ1・ラスト1・オール1・クラス1・ベスト1・ビッグ1・グッド1・グレート1・グレイト1・グローバル1・プラス1」の15冠を各分野でめざし、日夜努力、邁進しております。

## ③昨年から今年前半になされる企画や事業を教えてください。

- ・2010年4月1日 社長交代・機構改革  
新社長に野島新也 就任  
小川洋史社長は新会長に就任
- ・鮫博覧会（サメハク）2010に超チョウザメを出展  
2010年4月15日～2011年1月10日  
海遊館・開館20周年記念
- ・5月1日 創業80周年  
清水寺・森清範貫主様に「創」の御揮毫を賜る  
清水焼陶芸家・清水大介様に「瓢箪・置物」を創作していただく

## ④昨年、上海万博に出展されましたが反響はいかがでしたか？

今年、フジキンカーブグループは創業80周年の記念すべき年を迎えました。同時に様々な企画、キャンペーンを実施し、多くの皆様から叱咤激励をいただきました。その企画のなかで上海万博・大阪館への協賛出展は海を越えた新たな試みでもありました。

5月1日に開幕し10月31日まで184日間の会期中、実に色々なことがありました。

フジキンカーブグループは、水のカーテンというオブジェを出展。

何度か予期せぬトラブルに見舞われながらも無事、役目を果たす事ができました。8月にはフジキンデーとして特設会場で「日本流結婚式」イベントを挙。現地テレビ局で紹介されたこともあり、予想を大きく越える反響をいただきました。

事務局の発表によりますと上海万博への来場者は7308万人。

大阪館へは172万人が訪れたとのこと。

先日、大阪府の職員の方がご来社されました。実行委員会会長・橋下徹大阪府知事と副会長・平松邦夫大阪市長の感謝状をお持ちになられました。予期せぬご来社に、こちらこそ心から感謝申し上げます。

## ⑤今後の海外展開など戦略をお教え下さい。

国際的にはすでに、アメリカのシリコンバレーをはじめ4ヶ所とEUは独、アイルランド、それに上海・台湾・韓国・ベトナム・シンガポールに進出しており、その他の諸国等も準備中で、海外生産比率を現在の30%から近い将来は50%まで高めたいと考えています。これら最先端生産・サービス拠点を軸に位置付けて日本は東西2眼レフ体制から、アジアスクエア体制、世界本モノづくりヘキサゴン体制（2-4-6極体制）へと、グローバルネットワーク化を進行中です。

そして技術力において引続き各種の表彰・受賞（内閣総理大臣表彰第一回ものづくり日本大賞・優秀賞をはじめ毎年連続して数多く公的な受賞を受けている）が頂けるようハイテク企業からハイパー企業として実績を着実に実現して行く決意であります。

VECの皆様、本年もどうぞよろしくお願い致します。



フジキンソフト 株式会社  
代表取締役社長 小川 洋史  
合掌



## アジアの元気を取り込め

～アジアVCネットワーク・フォーラム2010～



11月24日及び25日の両日、お台場の東京国際交流館においてVECも後援して『アジアVCネットワーク・フォーラム2010』（以下、AVCNフォーラム）が開催された。歴史上初めて中国、北京、香港、台湾、韓国、シンガポールそして日本の7つのVC協会が一堂に会し、2日間で延べ500名弱の参加者を数え、業界関係者の関心の深さを窺わせた。日英中の同時通訳が相互理解に非常に役立ったが、レセプションで、私はさらにフランス語（招聘したEVC Aのディレクターがベルギー人であったため）とハンゲルも交えて挨拶したところ、会場から喝采を浴びた。

そもそもこのフォーラムはアジア地域でのVCのクロスボーダーな投資活動を促進するため、年初頃から経済産業省を中心に構想が温められ、JVCAの協力の下、手分けして関係VC協会を説得して回りようやく実現したもので、最後のところだけ参加できた私としては、関係者のご努力に敬意を表したい。

よちよちと歩み始めたAVCNのお手本としては、NVCAとも密接な連携を有しつつも、NVCAが単なるロビー団体であるのに対し、我々は世界スタンダードを担っていると豪語するEVC Aがある。彼らの学んだ教訓としては、すべての関係者から信頼を勝ち取るまでには長い時間が必要ということ、関心の異なる関係者の利害調整をねばり強く行うことが重要ということ、また、まず用語の定義を共通化することが必要であり、その上でデータベース等の基礎的な統計を整備することが重要ということである。

アジアの各VC協会のプレゼンテーションは、それぞれに経済状況やVC協会の発展段階に違いがあるものの、政府の強力なバックアップがあったり、好調な経済を背景に日本の何倍もの成果を出しているとの説明があったりと、羨ましい限りであったが、VC各社の規模が小さ過ぎるとの悩みや制度改革の必要性とか人材不足を指摘する声もあった。パネルディスカッションにおいては、日本について、技術、デザイン、ブランド、人材に優位性があるとの好意的な発言と、意思決定に時間がかかり過ぎるとの耳の痛い指摘があった。また、並行して隣接の会場で日本の24社のVBのプレゼンテーションや商談ブースも設けられ、盛りだくさんの内容となった。なお、25日の午前中には隣の産総研臨海副都心センターの見学ツアーも企画され、希望者が参加した。

JVCAの呉会長からは、イノベーションの夜明けに向かって、AVCNの活動を毎年持ち回りで継続して実施してはどうかとの提案がなされたが、アジアにおいてEVC Aのような恒久的な組織を立ち上げるには解決しなければならない課題が山積しており、是非呉会長の提案を実現したいと感じている。中国をはじめとしたアジアの元気を低迷する日本経済に取り込み、経済成長や雇用の確保につなげるには是非とも必要なことであり、VECとしても最大限の協力をしていきたい。

財団法人ベンチャーエンタープライズセンター  
理事長 市川 隆治

いるか・・・」から「誰に知られているか・・・」で成果に大きな変化があります。

ちょっと勇気を出して「一步を踏み出してみよう」あなたの支援を企業の皆さんが待っているのです。

在職中の経験・知識・ノウハウ・人脈を活かして支援活動をするのですが、そこには企業の体質や風土があります。そこで販路開拓支援が「しやすい」企業と「しにくい」企業があるのです。

### (1) 支援しやすい企業

社長がヤル気や情熱をしっかりと持っている  
契約の観念がしっかりとしている  
自社の商品へのコンセプトがしっかりとしている。また商品に個性がある  
納期厳守やクレーム対応の準備ができています  
生産数量も柔軟に対応できる

### (2) 支援しにくい企業

社長が自分の意見が絶対と思い込み人の意見を聞かない  
経営革新の認定をとったので支援は当然という態度で臨む  
販売促進のための価格交渉の余地を残していない（ギリギリで勝負している）  
連絡が取れないことが多く（メールの返事がない）、フットワークが悪い  
売ればいいという考え方で誰に売れるかのターゲットが不明確である

商縁プラザ 理事 進藤幸男



## VECレポーターが行く！！

～本町界隈お店情報～

OLや主婦にちょっと便利なお店がぞくぞくオープン!



- カムイン（北海道産品）・・・大阪ガスビル斜め向いの御堂筋通りにオープンした北海道の特産品が揃うショップ。夕張メロンのソフトクリームはおすすめ！現地まで行かなくても購入できる品が沢山!
- KOHYO（光洋）・・・大阪ガスビルの北側にオープンしたスーパーマーケット。オフィス街で嬉しいオープンキッチンから出来立てのお惣菜!
- FRESCO・・・地下鉄北浜駅と直結しているスーパーマーケット。品揃いも豊富。とにかく利便性があります。一度のぞかれては如何ですか?



## ～チャレンジャー&ベンチャー～

「一步踏み出す勇気を持ちましょう」



私の仕事は「販路マッチング・ナビゲーター」企業と企業の橋渡し役、つまり、マッチングをしています。

中小企業・ベンチャー企業には素晴らしい商品やビジネスモデルは多くあります。しかし、知名度が低いとか営業マンが少なく苦戦をしているのです。中小企業の悩みは「資金繰り」と「販路開拓」なのです。資金繰りは一時的に解決しても販路開拓が出来ないと、また同じ繰り返しをしてしまうのです。そこに企業OB人材の出番なのです。

在職中に培った経験・技術・資格。何よりも豊富な人脈があります。今の日本のビジネス社会は「人脈優先」「紹介優先」「コネ優先」の社会なのです。いまこそ有能な知識と経験と人脈を活かして中小企業の販路開拓支援に挑戦をしてみましょう。

私の、販路マッチング・ナビゲーターの12年間の体験上から中小企業・ベンチャー企業には接し方と留意点があります。ずばり中小企業にはすごく魅力も意欲も強く感じているのです。でも、中小企業の経営者は個性的で頑固な一面もありますが淋しがりやでアドバイザーやサポーターを欲しがっているのです。そして適切で最適なアドバイスを求めています。ビジネス交流の場、出会いの場、情報交換の場などのネットワークを欲しがっています。そこで目線の違いを心得て中小企業目線に合わせて本質を知りましょう。

つまり、経営スタイルの違いを知ることが大切なことです。そして、相手の懐に入り「聞き上手」になって公平な取り扱いをしましょう。主人公はあくまでも依頼企業の課題・問題点を正確に聞き取り的確に判断して共に一緒になって考える姿勢が大切です。

もう価格競争の時代から付加価値競争への転換には時間と説得力が必要になりました。そこに経験豊富で人脈豊富な企業OB人材の活躍の場面が出て来たのです。在職中の感性や感受性や感覚からの最適な判断力も定年退職して3年も経過すると判断力は鈍ってしまいます。何らかの形でビジネス社会に関わっておきましょう。在職中の豊富な人脈もだんだんと効果を発揮しなくなってしまいます。大切な人脈にも「誰を知って

## ～VEC関西より～

◆「てんこもり」愛読者の皆さん、楽しいお正月を過ぎましたか？京都市は年末からお正月にかけて大雪で、我が家の庭には大きな雪だるまが4つも出来上がりました。年明けから民主党も内閣改造や小沢問題など、内政に大忙しですが、その間に中国軍の活動の活発化や米国住宅市場の悪化、EUのギリシャやアイルランドの財政問題など内外に問題「てんこもり」です。少子高齢化が急速に進む我が国、しっかり見守って行こうではありませんか！（本田）

♥今年のプロ野球は日ハム斉藤佑樹投手のおかげで老若男女、沖縄キャンプ・本拠地北海道へと大移動が予想されます。すでにグッズも売れ、経済効果は凄いいものですね！大阪も頑張ってほしいものです。（藤本）

♣今年も超多忙なフジキンカーブグループ小川代表に朝7時半に何とか面談頂き、辛卯（かのと・う）に相応しい困難を克服、繁栄へと導く（同社カレンダーより）、パワフルなメッセージを頂きました。シニアベンチャーの進藤様より、今企業OB人材の出番であると、また、VEC市川理事長からは昨年フォーラムに参加された内容と、アジアの元気を取り込む必要性について1月号に続きご寄稿頂きました。（澤村）

### ◆<交流会>

平成23年3月11日（金）コンフィット株式会社  
代表取締役 尾添 純一 様  
平成23年3月29日（火）株式会社クリアリンクテクノロジー  
代表取締役 水原 隆道 様



☎:06-6263-0366

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております！